



◆地震への備えを、今一度

8月8日（木）、「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発表されました。幸いにも大きな地震は起きませんでしたが、この機会にご自宅の防災用品の見直しや避難経路・災害時の行動を確認された方も多くいらっしゃると思います。

大学で被災した場合の備えについてはどうでしょうか。自分の取るべき行動を把握していますか？教職員の皆さんは、自分の役割を理解していますか？産業医巡視で指摘のあった地震対策は、改善されているでしょうか？

東京大学では、各部局で年に1回の避難訓練が義務付けられています。所属部局における今年の避難訓練の開催日程を調べ、是非ご参加ください。本部防災訓練〔10月23日（水）開催〕では、防災イベントとして地震体験車を用意する予定です。どなたでも地震体験できますので、奮ってご参加ください。詳細は追って周知いたします。

◆10月23日（水）安否確認訓練を実施します

本部防災訓練と同日に、構成員全員を対象とした安否確認訓練を実施する予定です。当日のお昼頃に訓練メールが届くので、届いたら必ず回答するようにしてください。

訓練までに、登録されているメールアドレスが最新の状態で確かめておきましょう。メールアドレスが古かったり、間違って登録されていたりすると正常にメールが届きません。

<安否確認サービスに関するQ & A>

Q. 国内で大きい地震があったのにメールが来なかった。

A. 安否確認メールは、自分の住んでいる場所、または通学通勤している場所で震度5強以上が観測されたときに発信されます。国内で大きい地震があっても、居住地域、通勤・通学地域で大きな揺れがなければ安否確認メールの自動送信は行われません。なお地震の規模等を鑑み、所属部局の判断により別途在籍者全員に安否確認を実施することがあります。

Q. どこで情報を更新すれば良いかわからない。

A. 教職員は人事情報システム、学生はUTASから変更できます。詳細は、[各部局担当](#)までお問い合わせください。

★環境安全全般のポスター・通知・資料は東大ポータルからご覧いただけます。ご活用ください。

[＜https://univtokyo.sharepoint.com/sites/EHS_portal＞](https://univtokyo.sharepoint.com/sites/EHS_portal)

=====★7・8月に報告のあった東大の事故事例★=====

□注意を要する事故（！）

- ・混合液をシリンジフィルターでろ過していた際に、液の飛沫が目に入った。[24109F](#)

休憩後や片付け中に保護メガネの着用を忘れ、実験で使用していた液が目に入る事故が複数報告されています。実験器具や溶液を扱う際は、どのような場面でも保護メガネを着用することを徹底してください。

□実験中・作業中等の事故

- ・実験中溶液が目にはねた。[24093F](#)
- ・作業テーブルのコンセントが焦げた。[24089Nf](#)

□移動中の事故

- ・自転車にて通勤中、バランスを崩して自転車ごと右側へ転倒してしまった。[24082J](#)
- ・徒歩で通勤中に転倒し、右膝打撲。[24101J](#)

※事故詳細はこちら→「[事故災害事例一覧](#)」